

球磨川水系における平成26年度補正予算及び平成27年度当初予算について

1. 概要

球磨川水系は過去より水害が頻発しており、近年においても平成16年、17年、18年、20年、23年には家屋浸水被害が発生するなど未だ洪水に対する安全性は低い状態にある。このため、「ダムによらない治水を検討する場」で位置づけられた対策を着実に推進する。あわせて、老朽化等により機能の低下した施設の適切な補修・更新に努める。

また、球磨川下流域において、良好な自然環境の再生に向け水辺整備及び自然再生を推進する。

H26当初 : C = 24.7 億円 (改修、維持、環境)

H27当初 : C = 26.4 億円 (改修、維持、環境)

H26補正 : C = 1.0 億円 (改修、維持)

2. 平成26年度補正予算及び平成27年度当初予算の事業内容

「ダムによらない治水を検討する場」において、「直ちに実施する対策」に位置づけられた事業としては、①八代市萩原町の堤防補強、②過去に浸水被害が発生している八代市西鎌瀬地区の築堤、③球磨川中下流部における堆積が著しい箇所への河道掘削を実施する。

加えて、「追加して実施する対策(案)」に位置づけられた事業としては、人吉市域の下流端の地下・大柿地区における掘削・引堤に関し、用地交渉や工事用測量等の事業に必要な作業を進めつつ、地域の理解が得られたものから、一部掘削に着手する。

また、河川維持修繕の事業としては、河川内の定期的な調査や河川巡視結果を踏まえ適切な維持管理に努めるため、①堤防の補修、②老朽化した施設の補修・更新、③河川維持管理のための堤防除草等を実施する。

球磨川水系の環境整備の事業としては、加藤清正由来の「八の字堰」の再生を含む河床整正を行い、魚類等の生息環境の改善を図るとともに、地域と連携してまちづくりと一体となった賑わいのある水辺空間の創出を推進する。

